

中堅教諭等資質向上研修まとめ

中堅教諭等資質向上研修全体構想図・・・・・・・・・・ 16

企画選択研修実施内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

校内OJT、企画選択研修の取組事例・・・・・・・・・・ 18

鳥取市中堅教諭等資質向上研修

集合研修：6日

- 年間6回：午後半日開催
- 短時間で充実した講義・演習
- 国の動向や先進事例に詳しい講師
- 複数のキャリアアステージ・職務をつなぐコラボ研修

コラボ研修【研修項目】

No	期日	16年目研修①【児童生徒理解】
第1回	5月19日(火)	16年目研修①【児童生徒理解】
第2回	6月11日(木)	6年目研修①【学習指導(授業力向上)】
第3回	8月17日(月)	特別支援教育ステップアップ研修①・学校司書研修(選択A) 特別支援教育支援員研修②(選択A)【特別支援教育】
第4回	9月4日(金)	特別支援教育ステップアップ研修③・学校司書研修(選択C) 特別支援教育支援員研修②(選択C)【特別支援教育】
第5回	11月19日(木)	6年目研修②【児童生徒理解】
第6回	12月10日(木)	16年目研修②【キャリア教育】

企画選択研修：3日(～12月)

- 〈キャリア体験〉
 - ・保育園、幼稚園、認定こども園、特別支援学校での体験活動
- 〈地域貢献体験〉
 - ・勤務地での行事(公民館行事・祭り等)への参画
- 〈指導助言体験〉
 - ・自校、または中学校区での研修会等で指導助言

学校訪問：1回(11～12月)

- 授業参観(10分程度)
- 対象者、管理職との面談
 - ・校外研修の成果還元について
 - ・校内研修の実施状況について
 - ・校内OJTの実施状況について
- ※アンケートの実施

授業実践：7～9日(～1月)

- 教科等の指導力向上
 - ・教材開発
 - ・指導法工夫・改善
 - ・実践的指導法の向上
- ※外部講師の指導を1日以上受ける
- ※指導案(A4:1枚程度)準備

課題研究：3～4日(～1月)

- 学校課題解決
- 校内組織活性化
- 自己の指導力向上
- 校内OJT推進

実践発表：1日(12月～1月)

- 1年間の研修のまとめ
- 自身の実践の姿、取組経過等を発表
- 自校か中学校区で発表
 - ・プレゼン資料作成

校内OJT

校外研修

校内研修

令和2年度 鳥取市中堅教諭等資質向上研修 企画選択研修の実施状況

対象者:22名(19校) ※小学校12名(11校)、中学校6名(5校)、義務教育学校4名(3校)

【キャリア体験】

体験先(学校・園)	人数(人)	内容	時期
特別支援学校 鳥取聾学校	2	・児童生徒との交流 ・特別支援学校教職員との協議・情報交換 ・施設見学	10月
保育園 久松保育園 いなば保育園 城北保育園 白ゆり保育園 さとに保育園 白兎保育園 浜坂保育園 大正保育園 こじか園 美和保育園 かんろ保育園 福部保育園	15	○園児との交流 ・朝の登園指導 ・自由遊び ・給食指導 ○園長、保育士との協議、情報交換	8月～9月
幼稚園 第二幼稚園 ルーテル幼稚園	2		
中止	3	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、体験先との協議の上、中止となった。	

＜中堅教諭の声＞
 ○鳥取聾学校の施設見学を行い、学校での支援で気を付けていることを聞き、目と目を合わせ、心を合わせて話をするなど、指導や支援において日頃忘れがちだが大事なことを再認識できた。
 ○保育するうえで、自分の思いを言えるように、園児が話すのを待つことを大事しているという話を聞き、小学校に入学してからも、自分の思いを語れるように引き続き指導していくことが大切だという思いを共有できた。
 ○年長の園児が下級生に対してサポートをしている姿を見て、小学校1年生で求めるレベルについて考え直すきっかけとなった。
 ○園児に接する保育士さんの仕事ぶり、綿密な保育計画のもと、保育にあたっては様子がとても参考になった。
 ○保育園での体験を通して、子どものやる気、意欲を大切にし、遊びの中から学び、遊び切る子どもの育成を目指していることを学んだ。

※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、体験活動実施が大変難しかった。体験活動を行っても、2時間以内といった短時間で体験となった場合がほとんどで、十分体験や協議に時間をとることができなかったが、その中で園での取組や自校の児童生徒への指導で大切にしていることを伝え、発達段階に合わせてそれぞれ大事にしていきたいことについて意見交換を行うことができた。

【地域貢献体験】

体験・活動先(公民館・場所等)	人数(人)	内容	時期
公民館活動 久松地区公民館 浜坂地区公民館 面影地区公民館 醇風地区公民館 岩倉地区公民館 修立地区公民館 大正地区公民館 末恒地区公民館 湖山地区公民館 下味野児童館	15	・公民館行事への見学・参加(地域の学習講座・防災啓発活動・花いっぱい運動) ・清掃活動 ・まちづくり協議会への参加 ・子ども食堂の取組について ※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から地域の団体の活動や公民館活動の多くが中止となり、それに伴い打ち合わせ等も中止となったため、意見交換を行う時間がとれなかった。	6～12月
清掃活動 鹿野城址	2	鹿野城址清掃活動	11月
公共施設 鳥取砂丘ビジターセンター	1	鳥取砂丘ビジターセンターでの受付業務	10月
中止	4	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、体験先との協議の上、中止となった。	

＜中堅教諭の声＞
 ○これまで地域のことを知るきっかけがなかなか持てなかったが、公民館行事に参加し、活動の中で地域の方と話す中で多くの大人が子どもたちの指導に当たっていることを知り、地域の方の思いを知ることができた。
 ○地域の方と清掃活動を行う中で、地域のいろいろな教育資源について知り、今後の学習に活かそうという意欲が高まった。
 ○鳥取砂丘ビジターセンターで見学に来た小学校の対応をすることで、対応の仕方や自校が見学する際に活かせる経験ができた。

※中堅教諭から、地域の団体や公民館活動等、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止や縮小となり、打ち合わせにも参加できないという声を多く聞いた。参加できても短時間の活動で情報交換を行うこともなかなかできなかったが、地域貢献体験を通して地域の方の思いや地域のよさについて知るきっかけとなった。

【指導助言体験】

指導助言対象	人数(人)	内容	時期
初任研	6	初任研での指導助言、授業づくりへの協力	6～1月
校内授業研	16	校内授業研究会での指導助言	7～12月

＜中堅教諭の声＞
 ○初任者の授業研究会に向けて、指導案作成や事前研究会に関わり、授業づくりの指導を行うことができた。初任者への指導を通して、学習指導要領を読み直す等、自分自身の授業づくりを見つめ直すよい機会となった。
 ○日常的に初任者や講師と意見交換や情報交換を行うようにすることで、指導助言体験だけではなく、日々の授業においてもアドバイスができるようになった。
 ○自主的にミニ研究会を開き、その中で初任者や講師の思いを聞きながら自分が学んだことや考えていることを伝える活動を行った。その準備の過程で自分自身の学んだことを整理したことで自身の学びにもつながった。

※年度当初から昨年度の臨時休業による学び残しを取り返すために授業時間の確保が急務となり、なかなか予定通り授業研究会を実施することが難しい学校もあった。

【実践発表】

発表時期	1月～2月上旬
------	---------

中堅教諭等資質向上研修 学校訪問のまとめ
 ～校内OJT、企画選択研修の取組事例～

鳥取市教育センター 研修企画係

1 時期 令和2年11月13日（金）～12月11日（金）

2 対象者 中堅教諭（11年目）22名（19校）

3 内容

- ・中堅教諭との面談（20分程度）、管理職との協議（20分程度）、授業参観（10分程度）

4 成果（○）と課題（◆）

- 多くの学校で、中堅教諭が校外研修での学びを自身の実践に活かしていた。また、他の教職員と研修での学びを共有して、校内の実践に活かす取り組みができた。
- ほとんどの中堅教諭が、研修での学びを活かして若手教員の授業づくりや学級経営に対してアドバイスや支援するだけでなく、業務に対する悩みについて相談に乗るなど、ミドルリーダーの自覚を高め、若手のメンターの役割を果たしている。
- ◆本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、多くの中堅教諭が、企画選択研修の実施を中止または縮小した。しかし実施した中堅教諭からは、地域の方の思いや保育園・幼稚園・特別支援学校の様子を知ることで、今後の自校での教育実践に活かしていく意欲が高まったとの意見が多く聞かれた。
- ◆職員会や職員研修の中で研修内容を報告する時間の確保が難しいとの意見が多く聞かれた。
- ◆中堅教諭によっては、研修での学びを自分の実践に活かすにとどまり、研修の情報発信や校内OJT等、他の教職員への働きかけがやや弱い状況もみられた。

5 校内OJT、企画選択研修の取組事例

(1) 校内OJTの取組

事例①	若手教員への校内研修
内容	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 異年齢交流講習会で集合研修で学んだことを、校内の若手教員（講師）に伝達した。
<p><中堅教諭の声></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 研修内容から誰に何をどのように伝えるとよいか考え、研修資料を活用し、講師に伝達することで、自分自身も研修内容を整理することができた。 ● 異年齢交流講習会で司会も担当することで、先輩教諭の思いを引き出し、若手教諭の思いを聞き出すこともしている。自分の考えも含めて話し合いの内容をどのように学校目標に対して効果的に活用できるようにするのか考えることで、学校での課題を意識するようになった。 <p><教頭先生の声></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 意図的に中堅教諭に話し合いの中心としての役割を持たせ、ミドルリーダーとしての自覚が持てるようにしている。今後も継続的に行い、校内OJTの推進をしていく。 	
事例②	研究だよりでの研修内容の発信
内容	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 集合研修の内容を研究だよりにまとめ、全職員に配付した。 ➢ 研究だよりで研修の学びと自校に活かせるポイントを発信し、全職員で共通理解を図った。
<p><中堅教諭の声></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 研究主任として、研修での学びを情報発信している。その際に、まずは周りの職員と研修で学んだことから意見交換をして自校に活かせるポイントを整理し、研究だよりを作成している。 	

- 協同学習や子どもの思いを語らせるコツなど、具体的な事例をもとに伝え、日常の指導に活かすことができた。

事例③	研修のまとめを掲示して研修内容発信
内容	➤ 研修で学んだことを自分なりにまとめ、職員室などに掲示し、情報発信を行う。放課後などの時間を活用して、少人数で意見交換を行っている。
<p><中堅教諭の声></p> <ul style="list-style-type: none"> ● なかなか意見交換の時間が持てないので、研修内容をまとめ、掲示することでより多くの教職員に研修内容を知ってもらい、意見交換を行いたいと思って取り組んだ結果、多くの教職員が集まり、闊達な議論が行われるようになった。 <p><校長の声></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自発的に実施してもらい、自主的に学ぶ教員集団作りの中心的役割を果たしている。教職員も新しい情報や考えに触れることで、日々の実践に意欲的に取り組んでいるように思う。 	

事例④	自主研修会を企画して研修内容発信
内容	➤ テーマを決めて、少人数での自主研修会を企画運営する。その中では研修で学んだことも盛り込みながら研修を行い、意見交換を行っている。
<p><中堅教諭の声></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 主に初任者や若手教員を対象に、学習や学級経営など、テーマを決めて自主研修会を行っている。研修での学びも盛り込むことで、よりポイントを絞って研修ができている。 ● 準備が大変ではあるが、校長先生のアドバイスを受けながら、中堅教諭として若手にできることと考え、今後も続けていきたい。 <p><校長の声></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 初任者によく声をかけている。自主研修会でも資料を用意して意欲的に取り組んでいる。 	

(2) 企画選択研修「地域貢献体験」の取組

事例⑤	地域の教育資源に焦点を当てた社会体験
内容	➤ 鳥取砂丘ジオパークセンターで受付業務や来場した学校への対応を行った。
<p><中堅教諭の声></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 鳥取砂丘を紹介する施設での体験を通して、砂丘についての知識を得るとともに、見学に来た学校への対応をすることで、学習で取り上げる内容や伝え方について学んだ。自校では環境教育年計を作成中だが、9年間を見通した計画策定に向けての情報交換や、今後の連携の礎づくりとなった。 	

(3) 企画選択研修「指導助言体験」の取組

事例⑥	職員室での日常的な会話を通して助言
内容	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 講師や初任者、若手教諭の授業づくりに協力、指導助言 ➤ 職員室での日常会話を重視し、若手教員と日頃からコミュニケーションをとり、一緒に授業づくりを行った。
<p><中堅教諭の声></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 研修会の資料を渡したり、研修で学んだことを伝えたりし、職員室での何気ない日常会話を大切にしてアドバイスすることを心がけた。 ● めあての設定や学習過程の構成、発問や個別の支援の仕方等、具体的にアドバイスした。 ● 業務の中で意見交換を行う中で自分自身も新たな気づきがあり、成長につながった。 	